

高岡市老連だより

2018 8月号

第24号

平成30年 8月31日発行

編集 高岡市老連広報委員会
発行 高岡市老人クラブ連合会

高岡市博労本町4番1号 TEL (23) 7900

Eメール sirouren@aroma.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.senmai.ke.net/sirouren/>



金丸 智恵子 (博労地区)

高桑 陸雄 (牧野地区)

平成30年度 定期総会

開催日 平成30年4月26日(木)
場所 高岡市ふれあい福祉センター
多目的ホール



定期総会

平成三十年度の市老連定期総会が開催されました。

「高岡市老連のうた」を出席者全員で合唱後、高嶋会長の挨拶に続いて、来賓の吉澤高岡市福祉保健部長より激励のお言葉をいただき、引き続き議長に第七ブロック山王地区の中川裕行さんが選任され議案審議に入りました。

○平成二十九年度事業報告書並びに収支決算書について

原案どおり承認

○役員改選について

長年、市老連の会長を務めてこられました高嶋一正さんが退任されることになり、第七ブロック赤丸地区より、小山智克さんが新しく市老連の会長に推薦されました。

副会長は第一ブロックは守山地区の飯与志昭さんに代わり二上地区の平利一郎さんに、第二ブロックは引き続き定塚地区の藤本哲也さんに、第三ブロックは古府地区の前田明さんに代わり伏木地区の西廣志さんに、第四ブロックは戸出地区の坂口勇さんに代わり同じく戸出地区の小林秀司さんに、第五ブロックは引き続き東五位地区の山田孝雄さんに、第六ブロックは横田地区の大多斉二さんに代わり石堤地区の国奥勉さんに、第七ブロックは赤丸地区の小山智克さん

にかわり山王地区の中川裕行さんに交代されました。

また、女性委員長は木津地区の木間美也子さんに代わり能町地区の浅田清美さんに交代されました。

また、監事は本年度は第一ブロック成美地区の室崎希彦さんが退任され同じく第一ブロック二上地区の中川章夫さんが、また第二ブロック野村地区の立川美津夫さんに代わり同じく野村地区より北村外弘さんが、第三ブロックより伏木地区の北野昊次さんがそれぞれ推薦され、拍手多数で承認されました。その後、小山新会長・高嶋前会長よりそれぞれご挨拶があり次の議案審議に移りました。

○平成三十年度

事業計画(案)

並びに収支予

算書(案)に

ついて

原案どおり

承認



総務委員会 事業報告

委員長 中川 裕行

第十三回

高岡市老人クラブ大会

開催日 平成三十年七月十九日(木)
 場所 高岡市ふれあい福祉センター
 多目的ホール
 主催 高岡市老人クラブ連合会
 共催 高岡市
 参加会員 約二百八十名

我が国は、急速に進行する少子高齢化により、世界に例のない超高齢社会を迎えております。本市老人クラブ連合会の三百七十クラブ、約二万四千名の会員は、長年蓄積した豊富な経験と知識や技能を生かし、さまざまな世代と連携し、地域社会の担い手として明るく活力ある長寿社会づくりを推進しなければなりません。本大会は、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマとして、各世代とのふれあいを深め豊かな地域社会を目指すものであります。大会は、山田副会長の「開会宣言」にはじまり、国歌斉唱・高岡市老連のうた合唱・物故会員への黙祷・小山市老連会長の挨拶に引き



老人クラブ大会

続き、長年にわたり老人クラブ会長として、また会員としてクラブの発展と地域福祉の向上に尽くされた方々に、高橋高岡市長（代理・吉澤福祉保健部長）より感謝状が、また、小山市老連会長より表彰状が授与されました。

来賓として出席されました 高橋高岡市長（代理・吉澤福祉保健部長）、福井直樹高岡市議会副議長、島田県老連会長、尾崎高岡市社会福祉協議会会長より夫々祝辞をいただき、受賞者を代表して能町地区の彼谷英康さんが謝辞を述べられました。最後に浅田女性委員長より大会宣言が提案され満場一致で採択されました。その後、アトラクションとして女性委員会の皆さま

んによる「高岡市老連のうた」「森のくまさん」「いつでも夢を」のコーラスに引き続き、高岡訓若会の方による津軽三味線「津軽じよんがら節」「津軽アイヤ節」などが披露され、本大会の全日程を終了しました。

◆高岡市長感謝状

(地区老連会長及び女性部長)

彼谷 英康(能町) 布野富美子(太田)

嶋内 幸江(博労)

(単位老人クラブ会長)

開発 勇(能町) 蝦名 豊春(牧野)

高桑 陸雄(牧野) 吉村 省吾(野村)

中山 甚作(平米) 高野 辰蔵(伏木)

村上 芳雄(伏木) 大浜 義孝(古府)

山田 孝雄(東五位) 山口登志行(東五位)

折橋 貢(東五位) 吉田 武司(西条)

前野 秋光(石堤) 山田 哲五(石堤)

◆市老連会長表彰

(地区老連会長及び女性部長)

東 秀子(二上) 浅田 清美(能町)

山崎 武司(平米) 増山 節子(平米)

蒲田 和子(野村) 向 満雄(伏木)

国谷 洋子(伏木) 寺林 信子(古府)

山口 徹郎(太田) 吉田 孝(二塚)

上野ユキ子(二塚) 京本淳一郎(佐野)

村上千代子(大滝)

◆市老連会長表彰

(単位老人クラブ会長)

- | | |
|------------|------------|
| 水門 充雄(定塚) | 高田 清一(定塚) |
| 大門 勉(定塚) | 高 久夫(野村) |
| 金田 義之(野村) | 西 実雄(平米) |
| 紺 健一郎(太田) | 竹山 忠夫(太田) |
| 中村 光広(戸出東) | 奥村 弘道(戸出西) |
| 石田 政夫(中田) | 岡田 義巳(中田) |
| 矢田部慶三(博労) | 多田 晴彦(博労) |
| 上田 保(川原) | 内島 達孝(川原) |
| 竹下 正一(立野) | 平野 修三(立野) |
| 島 源太郎(佐野) | 鎌田 正健(佐野) |
| 早苗 澄夫(東五位) | 澤田 繁昭(福田) |
| 大田 夏雄(福田) | 宮坂 義夫(木津) |
| 早川 英一(横田) | 角田 隼一(横田) |
| 杉本 英夫(横田) | 朝山 隆(西条) |
| 佐野 良明(西条) | 釜谷 豊(西条) |
| 野上 政之(西条) | 河端日出夫(国吉) |
| 浅川 則夫(国吉) | 竹内 豊一(国吉) |
| 松田 進(国吉) | 片山 友明(石堤) |
| 川西 末吉(石堤) | |

◆市老連会長表彰

(優良会員)

- | | |
|-----------|-----------|
| 砺波 淳(能町) | 一 外治(能町) |
| 海老 悦子(牧野) | 伏間江俊雄(定塚) |
| 吉村 幸子(野村) | 岩瀬 照子(野村) |
| 八田 秀男(野村) | 中谷 静子(下関) |



老人クラブ大会

- | | |
|------------|------------|
| 新田 利栄(古府) | 禅野 憲三(古府) |
| 長谷川 寛(戸出東) | 春日 昭夫(戸出東) |
| 大木 久衛(戸出西) | 児嶋 武志(戸出西) |
| 折井 敏子(二塚) | 松井千代子(博労) |
| 越前 文子(博労) | 吉田 米子(博労) |
| 池守 笑子(博労) | 十二町国男(川原) |
| 春日久美子(立野) | 平野 敏雄(東五位) |
| 窪田 夏子(東五位) | 奥村 治作(福田) |
| 盛野 初美(福田) | 笹山さよ子(木津) |
| 東山登紀子(横田) | 横川 文夫(横田) |
| 竹田 劭三(西条) | 坂井 八郎(西条) |
| 藤井 容子(西条) | 笠間佐一郎(国吉) |
| 山田 昌子(石堤) | 西田 秀雄(福岡) |
| 竹田 律子(大滝) | 前田 信夫(西五位) |



体育振興委員会 事業報告

委員長 山田 孝雄

◆第十三回

市老連ゲートボール大会

開催日 平成三十年五月十六日(水)

場 所 福岡屋内多目的広場

参加チーム数 九チーム

市老連のゲートボール大会は、今年は福岡町の屋内多目的広場で開催され、山田実行委員長の開会宣言、小山市老連会長の挨拶、金森一郎高岡市ゲートボール協会長の激励の言葉の後、チームのメンバーで八〇才になられた方々の高齢者表彰が行われ、前回優勝の大滝チームより優勝杯が返還され引き続き競技に入りました。午前中は各チーム二コートに分かれ予選リーグ戦が行われ、その後、決勝トーナメント戦が行われました。成績は次のとおりです。

優勝 小勢地区 祖父川チーム

(村井弘芳・石田信次・佐伯正則・

沢田 勇・渡辺幹雄・村上昭雄・

米沢富美男)

準優勝 能町地区 すみれチーム

(河村良三・福田 武・升井義真・

三位

東五位地区 しぼのチーム

(田中治枝・林 昌二・東海新市・

松田アイ・寄田恵美子・東海多美子)

立野地区 花のれんチーム

(笹島清春・天坂勝男・佐伯栄吉・

畔木和男・竹内克子・竹田寿子・

油谷美智子)

藤 典子・浅野 敏)

ゲートボール大会



◆第十四回

市老連グラウンドゴルフ大会

開催日 平成三十年六月七日(木)

場 所 高岡スポーツコア 多目的広場

参加人員 百九十七名

市老連のグラウンドゴルフ大会は、青天に恵まれ、参加者はそれぞれ各組に分かれて二十四ホールを元気一杯にプレーしました。三位までの成績は次のとおりです。

【団体の部】

優勝

博労Bチーム

(岩瀬孝志・澤田

怜・水上武博)

準優勝

西条クラブチーム

(藤森慎一・山口

政一・目代興二)

三位

石堤チーム

(岡田勝昭・清水

豊一・柴田一義)

【個人男性の部】

優勝

橋本忠二(戸出)

準優勝

江幡 実(成美)



グラウンドゴルフ大会

三位 坂 捷三郎 (戸出)

優勝 中谷悦子 (国吉)

準優勝 山元洋子 (横田)

三位 山田寿美子 (西条)

【個人女性の部】

グラウンドゴルフ大会



◆市老連。ペタンク大会

開催日 平成三十年八月二日(木)

場所 高岡スポーツコア

参加者 百三十五名

決勝トーナメント戦 成績

優勝 黒田新町Aチーム

(塩谷龍男・秋野光広・小川 隆)

準優勝 横越下Bチーム

(須田 均・新納耕一・稲毛儀一)

三位 大滝Bチーム

(河原誠一・村上次雄・地崎知江)

敢闘賞 西五位Uチーム

(井渕幸雄・前田信夫・井渕くに)

漢詩

下関地区 前田町梅寿会

跡地 孝吉

惜春

真韻仄起式

忙裡迎梅又送春
鶯花一夢老風塵
休言世上窮通事
清淨独甘卑下貧

※押韻 春・塵・貧

忙しい内に梅花を迎え、又、春を送る

鶯が鳴き桜が咲き移り変り

とともに老いた

口説くことを止めよ、貧困とか立身出世のことなど清らかでけがれなく、孤独に甘んじ貧を卑下せず



ペタンク大会

社会活動委員会 事業報告

委員長 小林 秀司

第十三回

市老連囲碁・将棋大会開催

開催日 平成三十年五月九日(水)

場所 高岡市ふれあい福祉センター

多目的ホール

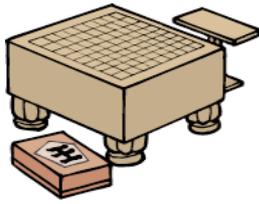
参加者 囲碁の部 六組 二十二名

将棋の部 四組 十六名

市老連の囲碁・将棋大会(但し囲碁は二段以上)が、県大会出場選抜を兼ねて開催され、各段・各級ごとに総当りで約三時間にわたり熱戦が展開され、各組で次の方々が優勝されました。

【囲碁の部】

| 組 | 地区 | 氏名 | 段・級位 |
|----|----|-------|------|
| A組 | 立野 | 平野 洵 | 五段 |
| B組 | 石堤 | 尾崎 孝嗣 | 五段 |
| C組 | 伏木 | 野田 敏博 | 四段 |
| D組 | 博労 | 中村 勝美 | 三段 |
| E組 | 横田 | 杉江 実 | 二段 |
| F組 | 横田 | 本田 実 | 二段 |



囲碁・将棋大会



◆ 囲碁の部 ● 富山県老人囲碁・将棋大会出場者

五月二十五日(金) 富山県総合福祉会館

| | | | |
|------|----|----|----|
| (立野) | 平野 | 洵 | 五段 |
| (大滝) | 酒井 | 良信 | 五段 |
| (佐野) | 西野 | 弘 | 五段 |
| (石堤) | 尾崎 | 孝嗣 | 五段 |
| (野村) | 柴田 | 芳郎 | 五段 |
| (野村) | 水野 | 俊雄 | 五段 |
| (伏木) | 野田 | 敏博 | 四段 |
| (博芳) | 中村 | 勝美 | 三段 |

| 【将棋の部】 | | 組 | 地区 | 氏名 | 段・級位 |
|--------|------|----|----|----|------|
| A組 | 大滝 | 羽柴 | 享治 | 三段 | |
| B組 | 太田 | 竹山 | 捷雄 | 二段 | |
| C組 | 山王 | 天近 | 和雄 | 二段 | |
| D組 | 引き分け | | | | |

◆ 将棋の部

五月二十三日(水) 富山県総合福祉会館

| | | | |
|------|----|----|----|
| (大滝) | 羽柴 | 享治 | 三段 |
| (大滝) | 杉野 | 正明 | 三段 |
| (太田) | 竹山 | 捷雄 | 二段 |
| (山王) | 天近 | 和雄 | 二段 |

※県大会の囲碁の部に出場された 平野 洵 (立野)さんは、準優勝され、県議会議長賞を受けられました。また、将棋の部に出場された羽柴享治さんと共に、十一月に開催されるねんりんピックに出場されることになりました。

各ブロックの行事

第一ブロック (成美・能町・二上・守山・牧野)

○各地区代表者会議(定期総会)

六月十五日(金) 十時より 二上公民館 出席者 二十六名

● 二十九年事業報告・決算報告 承認

● 三十年度事業計画(案)・予算計画(案) 承認

● その他三十年度 各地区予定事業計画説明

○第十八回グラウンドゴルフ大会

七月二十六日(木) 高岡市グラウンドゴルフ場 各地区十五名以内の選手にて個人戦

○訪問介護支援活動

守山地区で実施

六月より十グループで四十七名の訪問活動実施

○健康体操の実施

能町地区・成美地区・守山地区・二上地区

月二回 万葉社会福祉センターで実施

牧野地区

月二回 牧野老人福祉センターで実施

○交通安全教室

牧野地区

八月東地区、九月西地区で開催予定

成美・二上地区

九月開催予定

能町・守山地区

三十一年二月開催予定

今後の予定

○第十回パークゴルフ大会

九月二十六日(水) 二上浄化センター緩衝緑地帯公園 パークゴルフ場

●各地区十五名以内の選手にて団体戦を実施

○第二十五回シヤフルボード大会

十一月九日(金) 万葉社会福祉センター

●各地区十名以内の選手により個人戦で実施
予定

○役員研修会

三十一年三月 まんよう荘で開催予定

第二ブロック (野村・定塚・下関・平米)

○役員会

五月二十一日 定塚公民館

新年度事業計画等

○ゲートボール親善交流大会

五月二十四日 東部老人福祉センター

○教養講座

九月二十日 定塚公民館

交通事故未然防止・特殊詐欺

○役員会

九月二十七日 定塚公民館

芸能祭ほかについて

○第三十七回芸能祭

十一月一日 東部老人福祉センター

○認知症教室開催

十一月二十一日 定塚公民館

○第二ブロック役員反省会

十二月

○役員会

三月二十七日 定塚公民館

平成三十年度事業・決算報告

第三ブロック (伏木・古府・太田)

○定期総会

五月十日(木) 伏木コミュニティセンター

○第三十五回囲碁将棋大会

第四回 健康麻雀大会

六月十日(日) 伏木老人福祉センター

○第一回 カロリーリング大会

六月二十三日(土) 講習会

六月二十四日(日) 万葉スポーツセンター

大会

○第一回市政を聴く会 (高岡市出前講座)

七月二十七日(金) 伏木コミュニティセンター

センター

○ほよの会 若返り大会

九月 伏木老人福祉センター

○第一回グラウンドゴルフ大会

十月 伏木国分海浜緑地公園

○第三十二回北老協演芸大会

(北老協発足二十五周年記念)

十一月 伏木老人福祉センター

○ほよの会 年忘れ演芸会

十二月 伏木老人福祉センター

○健康づくり体操研修会

三十一年二月 伏木老人福祉センター

その他 年間活動行事として

●健康づくり体操 毎月第二・第四火曜日 (万葉スポーツセンター)

●川柳会 毎月第四日曜日 (伏木老人福祉センター)

●訪問支援活動 各地区毎実施

第四ブロック (戸出・中田・二塚・小勢)

○定期総会

四月十二日 戸出コミュニティセンター

○スポーツ部会・女性部会会議

五月九・十四日 戸出コミュニティセンター

○第二十五回ペタンク大会

七月二十三日 高岡スポーツコア

○第十六回グラウンドゴルフ大会

七月二十七日 高岡スポーツコア

○第四回パークゴルフ大会

八月三日 高岡市スポーツ健康センター

○認知症予防教室

十一月中旬 戸出コミュニティセンター

○いきいき高齢者の集い

十二月中旬 高岡市スポーツ健康センター

○役員研修会

二月二十二日 いこいの村磯波風

その他、年間行事として

●健康体操教室(毎月第二・第四木曜日)

戸出コミュニティセンター

●訪問支援活動(年六回 各地区毎に実施)

第五ブロック (博労・立野・東五位・福田・川原・佐野・木津)

○第五ブロック役員会

四月十二日(木) ふれあい福祉センター

○第五ブロック定期総会

四月二十七日(金) 博労公民館

○スポーツ担当役員会

五月十日(木) 博労公民館

○第五ブロック地区会長会議

五月十四日(月) ふれあい福祉センター

○第十回グラウンドゴルフ大会

七月二十五日(水) 高岡市グラウンドゴルフ場

参加者 七十〜八十名予定

○第八回パークゴルフ大会

八月六日(月) 高岡市スポーツ健康センター

参加者 九十〜百名予定

○役員研修旅行

十月九日(火)〜十日(水)

○第九回パークゴルフ大会

十月五日(金) 高岡市スポーツ健康センター

参加者 九十〜百名予定

○いきいき高齢者の集い

十一月十四日(水) こぶし荘

参加地区(佐野・立野・木津・川原)

○新年懇親会

一月三十日(水) 博労公民館

第六ブロック (石堤・横田・国吉・西条)

○第六ブロック定期総会

六月二十九日 福岡社会福祉センター

こぶし荘

出席者 八十一名

健康教室 高岡市民病院出前講座

(高齢者の健康管理)

演芸 石堤地区緑樹会婦人部

○第六ブロックグラウンドゴルフ大会

八月一日 高岡市グラウンドゴルフ場

○訪問支援活動

西条地区にて 四月より実施

第七ブロック (福岡・山王・大滝・西五位・五位山・赤丸)

○福岡地域長寿会定期総会

四月二十三日 健康福祉センター

○研修旅行

六月五日〜六月六日 信貴山温泉

○第十三回パークゴルフ大会

六月二十七日 西明寺パークゴルフ場

○第二十三回夏季ペタンク大会

七月七日 福岡小学校グラウンド

○福岡地域清掃美化運動参加

七月三十一日 土屋親水公園

○カローリング大会

八月十九日 Uホールアリーナ

○交通安全教室

八月三十一日 Uホールイベントホール

○ダンス教室

九月十一日・九月十八日・九月二十五日

福岡にぎわい交流館

○スポーツ大会

九月二十九日 Uホールアリーナ

○歩こう会

十一月初旬 こぶし荘

○福祉前句大会

十一月十六日 福岡健康福祉センター

○認知症予防教室

十二月七日 Uホールイベントホール

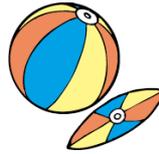
○役員研修会及び新年会

三十一年一月中旬 こぶし荘

○第二十二回室内ペタンク大会

三十一年二月中旬 Uホールアリーナ

随想



三十年度 第一回寿学級

下関地区 松栄会

宮田 順子

五月二十九日、おわら伯風会と生田流正派終会の合同演奏会が、下関公民館にて催されました。

おわら伯風会の東海会長の軽妙洒脱な話で会場の笑いを誘い、そうかと思えば哀愁をおびた、胡弓の音色と三味線の音が相俟って、会場に「おわら節」が流れると、飛び入り参加の、妙齢？なご婦人方のおわらの輪踊りが観客を取り巻き、どの顔も幸せそうな表情でした。

三味線と尺八の伴奏での民謡や、琴に合わせ、遙か遠くに過ぎ去った我らの青春時代に口

ずさんだ、星影のワルツ・ふるさと・お富さん・

茶摘み・等を記憶を辿りながら、又は歌詞カードを見て、会場中が唄い盛り上がりました。

最後に校会の皆様の琴と、東海会長の奏でるモンゴルの伝統楽器【モリンホール馬頭琴】の合奏が、一種独特な音色で聞くものの心の琴線に触れ、楽器が織りなす生の演奏会は素晴らしいと感動しました。

この演奏会を糧に、明日から『頑張ろう』『穏やかに楽しく暮らそう』と 元気で前向きな生活が送れそうな嬉しい気持ちになりました。

生きたい

五位山地区 西明寺長寿会

山本 勝

冬の寒さが緩みタヌキ、ハクビシン、いのしし、熊など山の動物が長い眠りから覚める三月

半ば、県道の脇にタヌキが死んでいると知らせてきた。見に行くと生き絶えている丸々とした死骸が転がっている。夜中に動き回っているうちに県道を走る車に轢かれたに違いない。恐る恐る覗くと安らかな寝顔そのもの、表情からは不慮の事故に遭遇した無念さや、加害者への怒りの情も無い。仏様の表情である。不憫に思い

自分の手で成仏させることにした。裸のままでは寒かろうとコンバイン用の粉袋に入れて包み、

近くの空地へ埋め、落ち葉の蒲団をかぶせて葬ってやった。

こうまでしたのは自分なりのわけがあったからだ。

数年前の八月初めの朝方、休耕田で作っていたスイカを見に行きびっくり仰天。

そろそろ収穫期と読んでいた畑が見るも無惨に荒らされている。前夜から朝にかけてのタヌキ一族の蛮行であることは一目瞭然、二十もあつたスイカの十六個がやつらの犠牲になった。

怒りの腹が収まらない。早速捕獲ワナを畑に仕掛けた。結果は意外に早く出た。

朝見回りに行くと突然がさがさと草むらが揺れ、犬のようなものが驚いて暴れ出た。一瞬タヌキやと確信。ワナはしっかりとやつの前足を掴んで放さない。近づく逃げようとして必死で暴れるが叶わない。観念したのか逃がしてくれと哀願するようにこちらを見る。しかしこのまま山へ逃がしては元も子もない。

「可哀想だがこのままこちらの手にまかせ成仏してくれ」。

自分には初めての覚悟のいる殺生である。丸太棒を手にとつと向かい合う、思わず身震いが出た。

気配を感じて急に暴れだした。かなりの大物の雄、隙を狙って脳天を一撃。しかしもの見事に急所を外れた。タヌキは狂ったように歯をむき出し口から泡を飛ばし恐ろしい形相で向かつ

てくる。こちらにも必死、二打目を痛撃、しかし致命傷にはならない。暴れまくるやつに夢中で三打、四打・・を加えた。急所を狙う余裕がなく、メッタ打ちの末に決着が着いた。そこはさながら凄惨な殺人現場のようになった。頭部と口、足首が血まみれの状態で絶命した。正視に絶えない生々しい死骸は、とるものもとりにあらず廃棄物同然にしてゴミ捨て場に埋めた。

しかし彼は殺されなくなかった、生きたかったのだ。悪事もするがひょうきんで愛嬌のあるタヌキも時には必死の形相で、また哀願するように「生きたい」というシグナルを私に見せたのだと、後で思った。



旅の思い出

バイカルの岸辺で

赤丸地区 長寿会

石川 正一

バイカル湖は「バイカル・スコエモーレ」という別名もある。バイカル海という意味だ。場所にもよりけりだが水平線も見えるし、外海洋なみの大型船舶も航行している。そのバイカル湖を観光旅行で訪れたのは四十年ほど前のことである。

その折に湖畔にあるバイカル研究所で陳列物

を観、解説を聞き、昼食のためレストランに入つたのは午後の三時は過ぎていた。

我々日本からの観光客のテーブルにはロシア人と思われる男たち四人が同席していた。彼らは無類に明るい性格でしきりに話かける。その中の一人は真正面にいる私に、「ヌラビーチシャバイカル」と、何度もういう。

しかし、何回尋ねられても、ヌラビーチシャの意味が分らなかつた。そのとき靴の中の露和辞典に気づき、ロシア語の好む、好きになるの「リュビチ」を指差すと、彼ら四人は一斉に立ち上がって、「ダー、ハラシヨ」と叫び喜んだ。

ダーは日本語の、しかり、そうだ。ハラシヨは宜しいというほどの意味で、この場合はダーを強調するほどのものだ。

彼らの中の一人は、以前モスクワでうどんを食べたことがあると言う。そのとき彼は話に夢中になり、その容器の井どんぶりを傾けた途端にうどんをすっきり床に落としてしまったが、どうしようもなかったと、ゼスチュアたつぷりに語ってくれた。

私たちは日本から来た観光客だが、あなた方はどこから来たのかと問うと、ベラルーシ（白ロシア）首都のミンスクからだという。彼ら一行は揃って顔だちがよかつた。

後日知ったことだがスラブ系の民族は一般に容貌が端正だと聞いた。ベラルーシを筆頭にウクライナ、ロシアの順だとも聞いた。

ハプニングも旅の思い出

下関地区 松栄会

中谷 静子

国内線乗り継ぎの為に、シドニー空港に降り立った時には既に、目的地ブリスベン行き便が離陸した後でありました。

目的地での地元牛バーベキューと言うゴチソウの昼食予定が、敢えなく空港内での怪しい軽食にすり替えられてしまいました。

さらに、次の便で目的地に入ってもオーストラリア最大の動物園で、コアラちゃんを抱いて写真を撮ると言う目玉企画が、コアラさんの労働時間が過ぎてしまい、当日は断念。

(アイサツもアイキョウもいらない、

ただ黙って抱かれるだけの労働なのにフウン!) 翌日ゴールドコーストでの「熱帯雨林に生息する不思議な光、ツチボタルと南半球の星座観賞」では私の大きな誤解がありました。

幸いにも、現地では季節が秋である事と晴天に恵まれた星空は、神々しいまでに澄み渡っていて、星まで届くかと思われる、長いレーザーポイントを使って説明されるナチュラリストの解説は大変素晴らしく、南半球星座の神秘を堪能いたしました。

星座を堪能した後はいよいよ世界遺産の森へとツチボタルの観賞に入りました、蛩と言え

「高岡のおとぎの森公園の蛍狩り」よろしく乱舞を想像して、暗黒の森へと進みました、間もなく、蛍が「いる、いる」とガイドさんが言われるが、飛んでいる蛍は一匹もない、「今に飛ぶ、今に飛ぶ」と思いつつ地面に張り付いた夥しい光を見ながらかなり歩いてから

「ああ、これが土に住む蛍、ツチボタル！」と気がつき、己の単細胞に石頭を叩きました。(蛍とは飛ぶものに限らず！)

旅の中で、幾つかの大聖堂や国立公園、オペラハウスなどオーストラリアならではの素晴らしい世界遺産を沢山見学しましたが、日曜日のブルーマウンテンズ国立公園でお会いした、休日を楽しむ駐ニュージールランド日本大使館員のご家族とお会いして、会話をした事が貴重な思い出と成りました。

久し振りに夫婦で旅を

定塚地区 福朋会

加藤 孝文

北陸新幹線が開業し、沿線の在来線は三セク化され現在に至っている。

JRいしかわ・あいの風とやま・えちごトキめき・しなの、の四つの鉄道に分割運営されている。今年は早や三年目となり、四社共同の企画として謝恩フリーきつぷが三月から発売され

た。旅行の日時を決めて、指定日と翌日の二日間に長野〜金沢間を利用できるもので、価格は¥4000也と誠に安価である。最近が高齢化で、膝・腰も痛み身体全体に衰えを覚える様になって、目もかすみ運転免許証を自主返納し、一層戸外に出る機会が少なくなった。そんな私を見て、家内が団体と違い二人だけなら慌てずゆっくり行けるのではと、「行って来ようよ」と背中を押すように云われ、その気になって、以前に出掛けて良かった「松代荘」に宿泊予約の電話をしたらOKであった。

早速、書店にて鉄道時刻表を買求め、連絡時間等を調べ長野まで約5時間余で行ける事が判り翌日に高岡駅で乗車券を購入してきた。速い新幹線より、ゆっくり鈍行の旅も久し振りに良かろうと、計画も良しと出掛ける気は充分である。私は一人旅が好きで、元氣な数年前迄は年に数回も全国を旅してきた。松代も、以前に家内と出掛け松代荘に立寄入浴し、含鉄・ナトリウム・カリウム・塩化物泉の湯に、再度入られればと思っていたので絶好のチャンスと期待する。

四月十一日、朝七時四十五分高岡始発の黒部行きに乗車、途中の滑川で下車し駅スタンプを押印し二十数分後の泊行きに乗る。朝の通勤ラッシュに、僅か乍ら座席に座られるのは老いの中には助かる。

車内で足を伸ばして、好物のビールを飲み乍

らの乗車は、のんびり旅の醍醐味である。残念だが曇天で、肌寒い日となったが波静かな日本の大海原、山間地では満開の花々を眺め一杯飲み乍らの旅を楽しむ。四回の乗り継ぎで、長野には十三時四十二分に着いたが降雨で、善光寺くらいは行かねばと思いつつ、身体を濡らして迄と諦め松代行きのバスに乗る。幸いな事に、この路線は概ね二十分毎に運行され便利だ。松代は、武田信玄と上杉謙信の川中島合戦や江戸時代の真田幸村の十万石の城下町、幕末の思想家・佐久間象山や女優・松井須磨子を輩出し、太平洋戦争の末期大本営を移そうとした、全国的に著名な町である。松代に着いて、タクシーで宿泊の松代荘に向かう途次回り道をして、雨中の観光地を巡ってきた。此処の松代温泉は、鉄分が濃く茶褐色で光の当り具合で金色にも見え、武田信玄の隠れ湯としても有名だ。強い鉄分は、タイルや石等も溶かしザラザラ状態、私も彼方此方に旅したが、こんな湯質は初めてである。

翌日は、昨日とは打って変わった好天。昨日の逆で帰宅の途につく、途中の妙高や雨飾、後立山。立山の峰々が、くつきりと浮かび上がる様に素晴らしい景観を眺められた。信州の山間地では、残雪の傍らに満開の桜花があり富山では見られない景色も眺められた。八十歳を過ぎ、足腰も弱くなって外出する機会も少なくなつて、寂しい思いの日々であったが、今回の小旅行は

元気を頂きこれからも出掛ける機会を作らねばと自覚した。行けない、出れない、では駄目だ。自ら機会を作って、外聞を広める事に生甲斐を求めたい。自分に合った楽しみを、援けてくれる家内と共に余生を送る様に努め頑張ってきた。

高岡大仏様のミニローソク

定塚地区 中川五区寿クラブ

福井 修一

朝明けの茜に輝く東の空を背に、「何が苦しいの」「何が欲しいの」と反眼の優しい瞳の大

仏様に手を合わせ、台座下の仏様に小さなローソクに灯を点しお祈りします。若い頃は短いローソクは経済的な理由と単純な思いでありましたが、近頃は、ローソクが風前の灯となり燃えつきる様は、いかにも人生を象徴しているように感ずるようになり、自ずと「南無阿弥陀仏」と呟く此の頃になりました。小さいローソクですから、より多くの人々がそんな思いでお祈り出来るのではないのでしょうか。

台座下の回廊には、天人、如来、蜘蛛の糸の主人公カンタダが逃げる気力もなく、うずくまっている地獄絵など拝観し、なで仏には若い頃は、なでるのは膝だけであったが、近頃は肩腰腹などど多くなり、年老いた事を感じる此の頃であ

ります。また毎朝六時三十分から大仏前で、あけぼの会で読経し、我も他人もの幸せ祈り、今日一日のはじまりとしております。あけぼの会は、どなた様でもお気軽にお越し下さい。



川柳

東五位地区 西園町長寿会

嶋原 義正

「後期高齢」

後期高齢老々介護しています

後期高齢惚けてますハイ分かってます

後期高齢ランドゴルフさわやかに



北老協川柳会

伏木地区 国谷 洋子 選

家持に地方創生教えられ

西 英子

家持公うたを詠み詠み国守る

紺 健一郎

鷹狩へ馬走らせる能登の海

村上 芳雄

どの像が家持さんに似てるかな

申橋 稔

家持が世界の此処を詠んでいる

一宮 郁代

時ながれ家持偲ぶ射水川

村田 マリ子

桃の花妻を重ねて愛し詠む

竹原 洋子

立山歌今も変わらず雄々しくて

佐野 澄枝

城山に美男子と立つ八乙女

村田 千恵子

万葉の魅力が詰まる歴史館

古木 彰

古城の杜枝折られても咲く桜

山口 徹郎

「かたかご」へ面影かさね胸こがす

堀 あつ子

雅なる文化の種を越に植え

国谷 洋子

青い「シミ」万年筆の涙です

嶋村 千代松

古手紙恋のしづくを想い出す

池崎 勝哉

前句

木津地区 星寿会 竹田 直治

「へとへとになりへとへとになり」塗り終えた壁に夕日のあかね色
天地「虹（にじ）」 俄雨雲間にかかる天の橋

折「花火（はなび）」 パツと咲き夏空高く光り散る

大滝地区 大滝クラブ 堂田 笑峰

「猛暑日に恵みの雨を待っている」大地に深く根を張る樹木

「へとへとになりへとへとになり」三輪車こぐ孫のあと追いかける

笠 風鈴が風の誘いに音たてた

大滝地区 開酔クラブ 澤田 笑敏

「猛暑日に恵みの雨を待っている」蛙一声耳傾けた

「へとへとになりへとへとになり」田草とり地球をなでて苦勞した

笠 風鈴で真夏の昼寝邪魔された

木津地区 星寿会 木間 美也子

笠 風鈴に心やすらぎ昼寝する

越 人生はあつという間の八十路坂

杓 青春の血潮みなぎる甲子園

山王地区 小・西・尻クラブ 大道 えつ子

「へとへとになりへとへとになり」アンカーへたすきを繋ぎ倒れけり

笠 風鈴に癒され食後昼寝した

杓 球児等の接戦熱い甲子園

西五位地区 向田クラブ 向井 崇代志

「へとへとになりへとへとになり」老体に積む雪高く難儀する

笠 風鈴が冷房費用補った

折「花火（はなび）」拍手して眺める空に美が弾け

大滝地区 開酔クラブ 中川 笑雄

「猛暑日に恵みの雨を待っている」水を求めて深く伸びる根
笠 風鈴が昼寝の耳をくすぐった

天地「虹（にじ）」 にわか雨架け橋かかる午後の一・二時

福岡地区 福岡一区長寿会 梅原 喜代治

「猛暑日に恵みの雨を待っている」湖畔の里に螢飛び交う

「へとへとになりへとへとになり」ゴールイン心に笑顔忘れない

笠 風鈴が父母への想い奏でけり

大滝地区 大滝クラブ 田中 Q

「へとへとになりへとへとになり」菅を干すただひたすらに菅を干す

天地「虹（にじ）」 西山にかかる七色夢の橋

杓 この夏もドラマを残す甲子園

西条地区 波岡豊友会 山口 豊治

「猛暑日に恵みの雨を待っている」稲穂痩せすぎ膨らみ欲しい

笠 風鈴で猛暑も少し和らげる

折「花火（はなび）」 橋からの眺め最高美の車窓

赤丸地区 鞍・尾クラブ 阿古下 和香

「猛暑日に恵みの雨を待っている」正念場なり農家の苦勞

「へとへとになりへとへとになり」応援に完走めざす願い道

笠 風鈴が旅の疲れを癒しけり

戸出地区 若葉会 古澤 澄子

「猛暑日に恵みの雨を待っている」こうべを垂れる畑の野菜

折「花火（はなび）」橋のもと眺める皆美人顔

越 定年後あつという間に傘寿なる



山王地区 上・葦島クラブ 太田 満知子

「猛暑日に恵みの雨を待っている」くたぶれ顔のあじさいの花

「へとへとになりへとへとになり」はっぱかけ完走めざし突っ走る

笠 風鈴が耳にさわやか涼呼んだ

西五位地区 西五位三区クラブ 地崎 愛子

「猛暑日に恵みの雨を待っている」植えて二十日のなすびにトマト

笠 風鈴が昼寝の時間癒しけり

天地「虹(にじ)」にわか雨空は七色夢の橋

大滝地区 大滝クラブ 田中 睦風

「猛暑日に恵みの雨を待っている」空仰ぎつつ野菜励ます

「へとへとになりへとへとになり」今日用と今日行く所多すぎる

越 寄り添ってあつという間に半世紀

西条地区 波岡豊友会 山口 康子

「へとへとになりへとへとになり」足の怪我復帰の羽生金メダル

天地「虹(にじ)」 俄雨空に七色すぐに橋

杓 応援に行つて来ました甲子園

大滝地区 木舟新クラブ 稲垣 邦子

「へとへとになりへとへとになり」老いてなお菅笠踊り街ながし

笠 風鈴の音色静かに揺れている

杓 輝いて夏の球児の甲子園

西五位地区 三日市クラブ 木村 重明

「猛暑日に恵みの雨を待っている」葉を隠れ葎耐えてるカエル

天地「虹(にじ)」にわか雨天に懸けたよ錦橋

越 一言であつという間に信なくす

国吉地区 国寿会 中谷 洋子

笠 風鈴の奏でる音で眠りけり

天地「虹(にじ)」にわか雨空に七色見て家路

折「花火(はなび)」花びらが流れ出て来てビードロに

福岡地区 福岡二区クラブ 尾崎 与里

「猛暑日に恵みの雨を待っている」雲行きあやし雷の音

笠 風鈴が涼風うけて鳴りわたる

折「花火(はなび)」パツパツパ長く夜空をひびかせる

木津地区 星寿会 土田 由朗

「猛暑日に恵みの雨を待っている」富富富育てて篤農家なる

天地「虹(にじ)」西空に七色の帯薄紅葉

折「花火(はなび)」はからずも名代の鍵屋美形なる

大滝地区 木舟新クラブ 藤村 信子

「へとへとになりへとへとになり」雑草に誘われ力んで墓掃除

笠 風鈴の奏でる音で昼寝した

杓 風物詩老いも真剣甲子園

福岡地区 大野クラブ 大野 丸笑

「へとへとになりへとへとになり」鍬仕事孫が顔みてほほえんだ

笠 風鈴がチリンチリンとゆれている

折「花火(はなび)」晴れた夜ならんで見ては微笑する

西五位地区 三日市クラブ 笠嶋 祥子(吉祥)

「猛暑日に恵みの雨を待っている」人も野菜も空を見上げる

笠 風鈴が駅のホームで出迎えた



高岡市老連だより次回発行のお知らせ

今回は平成三十一年一月に発行を予定しております。できるだけ多くの方の投稿が掲載出来るよう、次の点に留意されますようお願いいたします。

○各クラブの活動状況・随想等

四百字詰め原稿用紙一〜二枚程度

○短歌・俳句・川柳等

一人一種目に限定し、三首以内にして下さい。

○前句

一題一句とし、一人三句以内にして下さい。

出題句は次の六種七とおりです。わからないことは選者に電話して下さい。

「前句は高岡市の認定文化に指定されています」

一、長題

「福袋誘い誘われ春の街」七、七を付句する。

「右を向いても左を見ても」五、七、五を付句する。

結句は次の句につながる助詞止めや形容詞止めはさけて、言い切るか、名詞止めにする。

二、笠題

「大吉」つなぎの助詞(が・で・に等)を付けて七・五を付句する。結句のしめくり方は俳句のように名詞止めにしたら失格です。必ず完全終止形(…た。…る。…けり。)

にする。

三、天地題

「たこ」たで始まり、こで終わる。内容は「たこ」のことを詠む。

四、折題

「炬燵(こたつ)」五、七、五のそれぞれの頭に「こ」、た、つと入れ、内容は「炬燵」のことを詠む。

「避けて通れぬ」五・七・五の中に詠み込む。

五、越題

「好奇心」五・七・五の結句にそのまま詠み込む。

六、沓題

※長題・天地題・折題の付句には、出題句の漢字や言葉を使用してはいけません。(字ざわりで失格句になります)

一部添削させていただきました。ご了承の程よろしくお願い致します。

※前句の投稿は次の選者宅へ、前句以外の投稿は市老連事務局へ

〒九三九〇一〇二 高岡市福岡町三日市五五五

笠嶋 祥子

電話・FAX 〇七六六一六四一四一七

○地区名・単位クラブ名・氏名を明記して下さい。

○締め切り 平成三十一年十月末まで 必着

俳句

平米地区 渌寿会

作道 璃千子

縦書きのわれの一徹山笑う

犬の目の訴えて居る暑さかな

花ミモザいつも机上に肩叩き

平米地区 松和会

小野田 洋子

絢爛たる七基の山車の揃い踏み

独りが好き独りは淋し散るさくら

何時の日か永遠の家となる墓洗う

戸出西部地区 古中長寿会

竹沢 良信

春の日に見慣れぬ小鳥枝わたる

谷川や高だか香る桐の花

松影や満天照らす真夜の月

成美地区 南山会

開発 清二

噴水高揚の水玉が水玉追い

挨拶の傾け合える日傘かな

花菖蒲一茎折れて水に咲く

山王地区 小・西・尻クラブ

大道 えつ子

帰省の子祖父と植えし田確めて

少年の蝉追う姿なくなりて

春の夕部活帰りの声弾み



編集後記

二年前の「市老連だより」に「天災は忘れたころにやってくる」と熊本地震のことを記しました。何んと今年は大阪方面で震度六弱の地震が発生しました。その後、各地で震度三位の地震が発生しています。

まさに日本は地震大国ですね。特に太平洋側は南海プレートとか云うものがあるが、実際に起こったと云われていますが、実際に起こったとすればその被害は予想もつかないとのこと。所詮人間の力では防ぎようがありません。

ん。富山県にも活断層が何か所もあり、いつかは地震が起きるだろうと予想されています。大きな地震にならないよう祈るだけです。何んとといっても、昔からこの世の中で怖いものは「地震、雷、火事、オヤジ」と云われ地震が一番ですから。

余談になりますが、最近「オヤジ」はランク外になった様な気もしますが、とにか、これまでの災害の教訓を生かし日頃からその日のために十分に備えておきましょう。

広報委員長 藤本 哲也